

+++++

「植物と人々の博物館メールマガジン」 第13号 2016年4月12日発行

+++++

スペインを飛行機、バス、高速鉄道と乗り継ぎ、聖家族教会、アルハンブラ宮殿などを速足で巡りました。街路樹のオレンジが花盛り、香りで充ち溢れ、車窓に延々と続くオリーブや麦の畑、やはり放棄畑などはありません。

バルセロナの高級スーパーでは、キビ、ソバ、キノア、アマランサスを500g、約3～5ユーロで売っていました。どんぐり育ちのイベリコ豚の生ハムを堪能し、バスク料理のピリピリもいただきました。

小菅村の畑に植える夏野菜の育苗を始めました。越冬したエンドウ2品種、ニンニクは大成功、大麦、小麦各2品種も良好です。

会員および配信を希望される方に公開活動ニュースなどをお送りしています。ご関心のあるご友人に転送などでご紹介いただき、顔のない薄情な「マスコミ」ではなく、顔見知り信頼の「ロコミ」で転送伝達していただけると嬉しいです。連絡先は下記メールアドレスです。

展示解説・作業予定日：

4月11日(月)、28日(木)、5月4日(水・祝)、14日(土)～15日(日)、20日(金)、27日(金)ほか。

なお、4月18日(月)は藤野で図書整理をします。参加希望者は木俣にメールしてください。kibi20kijin@yahoo.co.jp

1. 日本村塾 Nihonmura College for Environmental Studies

伝統知を学び合うことで、「素のままの美しい暮らし」(Sobibo)を勧める。

1) 扶桑くにゼミ第3回

日時：5月～6月の土曜日未定、小金井、読書会：推薦図書：『銃・病原菌・鉄』、上1900円、下1900円、ジャッレド・ダイヤモンド著、草思社。

ほか検討中、ご意見があれば、お知らせください。

2) 自給農耕ゼミ第4回 5月～6月未定、藤野、世話人は末村さん、宮本さん。

3) 民族植物学ゼミ第3回 日時：5月4日(水・祝)小菅村 植物と人々の博物館 公開解説と小展示「欧米の雑穀紹介」・「古守豊甫先生懐古」。読書会推薦図書：『生業から見る日本史』、国立歴史民俗博物館編、2008、

吉川弘文館 3000円。購入不要、資料は木俣研究員が用意します。

小菅村源流祭り、INCH お祭りキャンプもあります。

4) 自給農耕ゼミ第5回 日時：5月14日(土)小菅村 雑穀栽培講習会 は岡部さん

(丹波山村)と中川さん(上野原市西原)による伝統的な栽培法の指導。

雑穀概説は木俣研究員がする。東京学芸大学環境教育専攻生実習予定。

日本で栽培されている雑穀6種とアマランサス、キヌアの種子が必要な方には少量なら差し上げられます。お知らせください。

2. 環境学習セミナーの準備状況

1) 第37回、6月25日(土)、小菅村、山村の豊かさを学ぶ座談会、ミュージアム研究会担当。話題提供者：山下祐介さん(首都大学東京)、

白水智さん(中央学院大学)ほか。詳細は近日中にお知らせします。東京学芸大学環境教育専攻生参加、実習予定。

2) 第38回、9月3～4日(土・日)、小菅村、自然と暮らす伝統知座談会と実技講習、自然文化誌研究会担当。話題提供者：佐々木豊志さん

(くりこま高原自然学校)ほか。小永田のお神楽見学。

報告 植物と人々の博物館活動

1) 森とむらの図書室の蔵書

原沢文庫(約1500冊)は藤野倶楽部の安心農園「無形の家」内にある森とむらの図書室藤野分室で整理中。

小菅では、現在は山村・森林関係、環境・教育関係の図書を優先して整理しています。蔵書整理状況は下記個人HPの「森とむらの図書室」にあります。

2) 雑穀のさく葉標本の調査、整理をしています。

3) 民族植物学ノオト第10号は2016年5月連休明けまで締切延期で原稿を募集しています。e-メールなどで木俣までお申し込みください。

バックナンバーは下記の公式HP植物と人々の博物館(ミュージアムグッズ)で読めます。冊子版の第1号はなくなり、第2～6号は若干の在庫があります。

第7～9号はまだあります。近刊好評で、暖かいご感想をいただいています。

.....

植物と人々の博物館は、山梨県小菅村で行っているエコミュージアム日本村(トランジション小菅)のコア博物館です。

これはNPO自然文化誌研究会のボランティアな公民館活動プロジェクトで、小菅村と東京学芸大学の社会連携協定に協力しています。

ご興味のある方が山村の素のままの美しい暮らし sobibo や伝統文化を村人から一緒に学び、継承するプロジェクトに参加して下さると、とてもうれしいです。

自然文化誌研究会が国内外の調査研究によって収集した民具、雑穀標本、図書、雑穀栽培見本園などを山梨県の山村小菅の暮らしと関係づけて展示、

整理、解説しています。雑穀栽培講習会、日本村塾 3 ゼミ（自給農耕、民族植物学、扶桑こく）、環境学習セミナーなども開催しています。

雑穀街道（さあ山村）を、都市から農山村に暮らし向きを求め、鎌倉街道（いざ鎌倉）と反対方向に創ることを提案しています。

現在の日常活動 ボランティア研究員として、協力していただけると嬉しいです。

1. 雑穀栽培見本園の管理
2. 民具展示の整理、特別展の企画・作製、希望により解説もします。
3. 雑穀標本の整理
4. 農・林学、植物、環境、教育、人類学、およびインド・タイ・中央アジアほか欧米諸国の関係図書の整理、番号付をしています。希望により閲覧できます。

自然文化誌研究会（東京都日野市）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳、小川泰彦
ミューゼス研究会／トランジション小菅（山梨）：代表 青柳諭、副代表 亀井雄次
事務局：黒澤友彦（小菅村在住） npo-inch@wine.plala.or.jp

植物と人々の博物館：館長 木下善晴（小菅村在住）

日本村塾生・研究員：木俣美樹男（東京）、西村俊（石川）、藤盛礼恵（千葉）ほか

連絡先：木俣美樹男 kibi20kijin@yahoo.co.jp

公式 HP：植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

個人 HP：生き物の文明への黙示録 <http://www.milletimplic.net/>

木俣美樹男 Mikio KIMATA kibi20kijin@yahoo.co.jp

植物と人々の博物館／日本村塾 研究員塾生

Nihonmura College for Environmental Studies, Plants and People Museum

公式 HP：<http://www.ppmusee.org/>

個人 HP：<http://www.milletimplic.net/>